

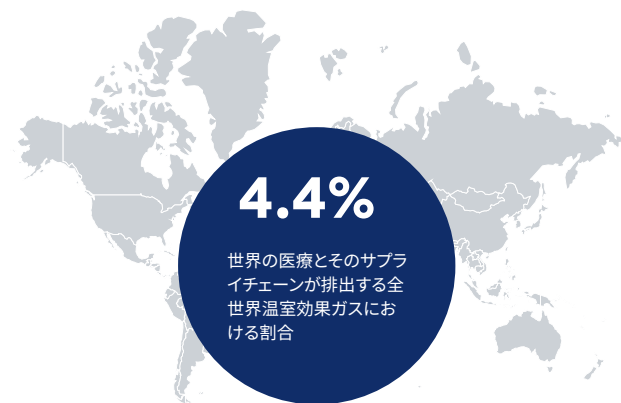
私たちの責任

アクセサリや消耗品のサステナブルなデザインとプロセスを通じて、環境への影響を低減する

ドレーゲルのDNAと会社沿革においてサステナビリティと継続的開発は不可欠な要素です。当社の基本理念“Technology for Life”は、責任を負うことを意味します。廃棄物を継続的に減らしていくために、私たちは持続可能な製品の開発、リサイクルプロセスの最適化、不必要な梱包材の削減に取り組んでいます。

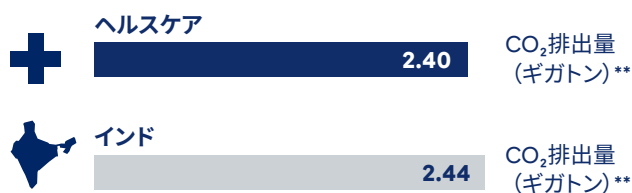
ヘルスケアと気候

2015年、世界の医療業界とそのサプライチェーンは、CO₂排出量相当値に算出すると2.4ギガトンの温室効果ガスを排出しました。



出典: The Lancet, Our World in Data, Health Care without Harm

医療業界を国に例えると、世界で5番目に大きい温室効果ガス排出国です



*Scope 1,2および3**を含む 2015年のデータに基づく

ヘルスケアと廃棄物

手袋、マスク、シリンジなど、医療現場では大量の廃棄物が出ます。



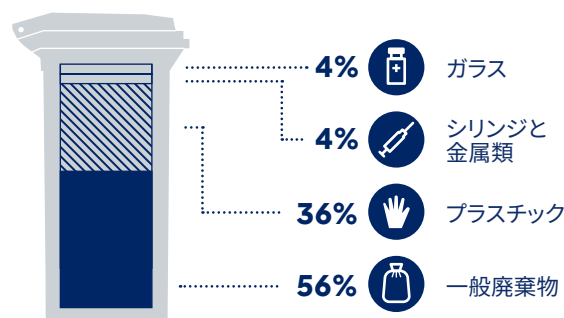
米国の病院では、1床当たり1日 **8kg以上の廃棄物**が出ます。



ドイツでは、医療は廃棄物を **5番目に多く出す**分野です。

出典: Critical Reviews in Environmental Science and Technology, Practice Greenhealth, WHO

医療廃棄物の内訳



環境への影響を低減するためのドレーゲルの取り組み

HCA製品におけるサステナビリティの課題は、CO₂排出量だけではありません。私たちはアクセサリや消耗品を、プロダクトライフサイクルの全過程にわたって持続可能にすることを目標にしています。

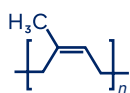


環境を意識した製品デザイン

「急性期治療の改善」には、サステナビリティをより重視することも含まれます。そこで、私たちは新しい製品やシステムの開発において、初期段階で持続可能なデザインを考慮するプロセスを導入しました。

懸念される素材の使用削減

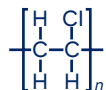
長年にわたり、当社は懸念される物質の使用を最小限に抑えてきました。ほぼすべてのアクセサリと消耗品が、ラテックス、ポリ塩化ビニル (PVC)、ジエチルヘキシルフタレート (DEHP) 不使用です。



天然ラテックス:
天然ゴム



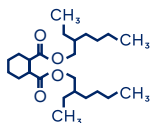
アレルギー反応の原因



PVC: 3番目によく使用されるポリマー



含可塑剤で危険性あり



DEHP: 可塑剤



発がん性と有毒性



 DEHPフリー

PVCの差し替えが不可能な場合、DEHPを添加せずに使用します。



ビジネスパートナーの行動規範

ユニセフによると、世界の子どもの10人に1人が児童労働に関わっています。国際労働機関は、7億人が雇用されているにもかかわらず貧困にあえいでいると報告しています。ドレーゲルのビジネスパートナー向け行動規範では、以下などを禁止、取り締まりしています:



児童労働の禁止



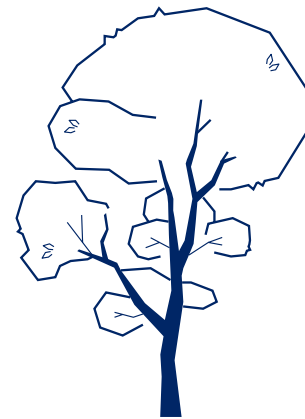
強制労働の禁止



差別の禁止



労働安全衛生



環境保護

出典: ILO, Unicef



輸送に係るCO₂排出の削減

CO₂排出量を意義ある方法で削減するために、ドレーゲルでは呼吸フィルタやソーダライムなどの複数の大量生産品を、ヨーロッパの地元サプライヤーから材料を仕入れ、ドイツで製造しています。



船便



航空便



Air2Sea(航空輸送から海上輸送)

航空便は船便に比べて144倍のCO₂を排出します。そのため、当社では遠方14か国の市場にアクセサリや消耗品を輸送する際の航空便の量を減らしています。

輸送手段間のCO₂排出量の比較

● 1トンおよび1km当たりのCO₂排出量相当値 (g)



8g

大型コンテナ船

62g



トラック

602g



飛行機

出典: ECTA

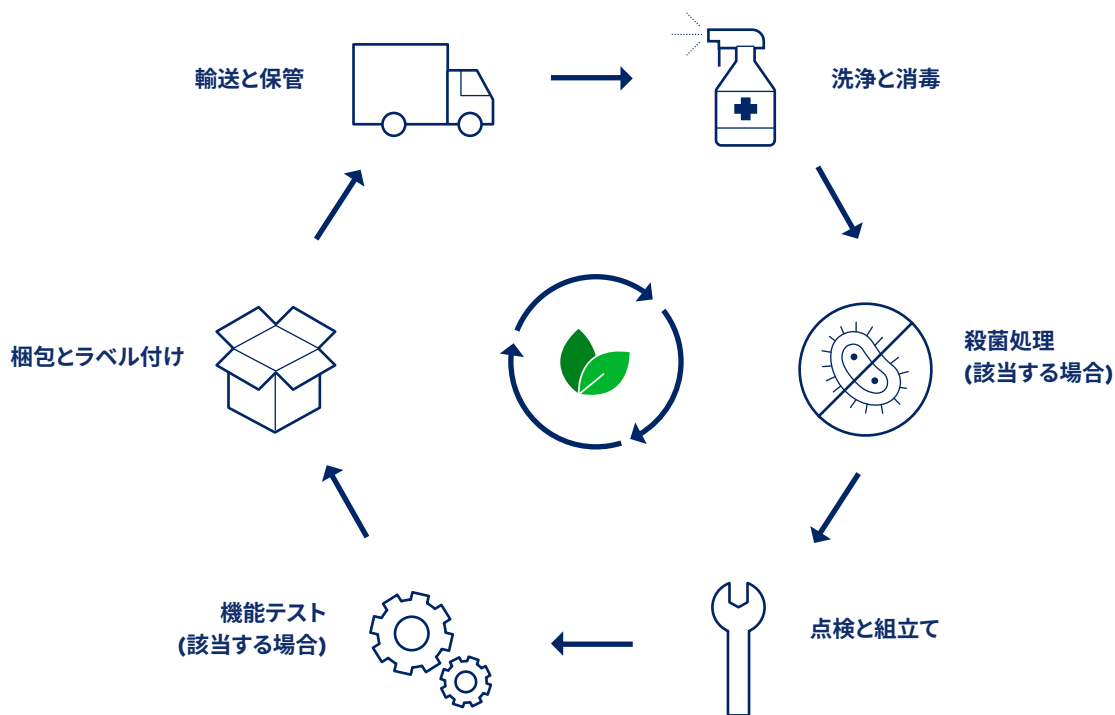


環境効率の分析

ドイツの環境学会、bifaが実施した当社のアクセサリ製品*の環境効率の分析では、あらゆる環境保護の側面が明らかになりました。このように、ドレーゲルは医療におけるサステナビリティとして、包括的で、根拠の確かな意思決定をサポートしています。

複数の患者に使用するための製品の再処理・再利用は環境効率にとって有効か？

再処理・再利用とは、エネルギー集約型のプロセスです。大量に必要となる品目にとって、リユース製品を選択することは論理的に感じられます。ただし、環境保護の観点では必ずしも道理にかなうとは言えず、それぞれの事例において検討する必要があります。



製品の再処理は、CO₂排出量に大きな影響を与える場合があります。

リソース消費とエネルギー消費、土壌と水の富栄養化も考慮する必要があります。

ディスプレイとリユースのどちらがより環境保護に配慮しているかという問いは、一般的に答えることができず、個々に判断する必要があります。

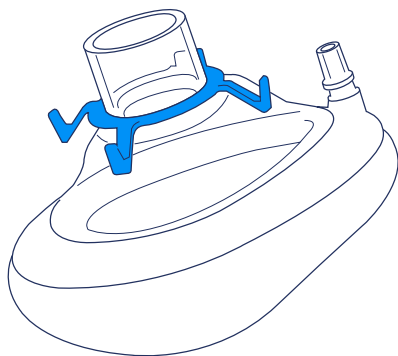
* ドイツで利用可能



廃棄物の削減

医療ケアの過程で、大量の廃棄物が発生します。継続的に廃棄物を削減するために、ドレーゲルは持続可能な製品の開発、リサイクルプロセスの最適化、不必要な梱包材の削減に取り組んでいます。

こういった取り組みを重ねて廃棄物の削減に貢献したいと考えています。



麻酔マスクにおけるプラスチック使用の削減

減多に使用されない機能をオプションにすることで、私たちは不必要な廃棄物を設計段階でも回避しています。たとえば、SediStar®とLiteStar®のポリカーボネート製のフックリングの場合、100万個のフックリングに対して、1個当たり2g以上、合計2メートルトン以上のプラスチックを毎年削減しています

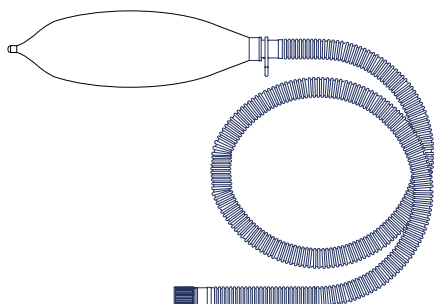
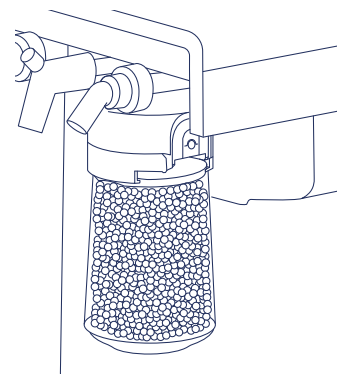
リサイクルの増加

私たちは環境効率に配慮したデザインとリサイクルプロジェクトで、廃棄率を低く抑えています。



ソーダ石灰のリサイクルによるCO₂排出量の削減

ソーダ石灰はドイツではすでに回収、リサイクルされており、今後他国でも展開を検討していきます。2021年には77トンのソーダ石灰がリサイクルされ、33メトリックトンのCO₂排出量が削減されました。



リサイクルの試行

呼吸回路のリサイクルトライアルが、ドイツの大学病院の協力の下実施されています。対象となっている製品は病院で収集され、リサイクル会社に引き渡されます。



私たちの取り組みはすべて、共通の目標を追いかけ
ています:「創業家の一員として、子供たちに明日きち
んと説明できることを、今日やりたいと思うのです」

執行取締役 会長 Stefan Dräger (シュテファン・ドレーゲル)